

第20回関東学童軟式野球秋季千葉県大会 【日本ハム旗大会】



平成30年10月 7日(日)・8日(祝)・14日(日) ㊦20日

・稲毛海浜公園スポーツ施設野球場 A面 B面





・養老川臨海 第一球場 第二球場

・平岡公民館野球場(㊦20日)

《参加チーム》 トーナメント表順

- | | |
|------------------|------------------|
| ★習志野フェニックス (習志野) | ★昭和少年野球クラブ (かずさ) |
| ★夏見台アタックス (船橋) | ★一宮少年野球クラブ (九十九) |
| ★千葉市原マリーンズ (市原) | ★豊畑スポーツ少年団 (東総) |
| ★嶺岡インパルス (安房) | ★緑町レッドイーグルス (千葉) |
| ★四街道ブルースターズ (印旛) | ★新井子ども会野球部 (市川) |
| ★浦安ドルフィンズ (葛南) | ★流山ホークス (東葛) |
| ★ジュニアコスモス (北総) | ★四小地区少年野球クラブ (柏) |
| ★勝田ハニーズ (八千代) | ★有秋ドラゴンズ (市原) |

《試合結果》 トーナメント表は県HP試合結果に掲示しております。

-  **優勝 夏見台アタックス** (船橋地域)
-  **準優勝 四小地区少年野球クラブ** (柏 地域)
-  **第三位 緑町レッドイーグルス** (千葉地域)
-  **第三位 四街道ブルースターズ** (印旛地域)



★ 夏見台アタックス 主将 井上 舜也 (イノウエ シュンヤ)

僕は去年この大会で悔しい思いをしたので、絶対に優勝したいと思って大会にのぞみました。準決勝、決勝は去年負けた時と同じ球場、同じベンチで行われました。準決勝は先制されてしまったけど、去年一緒に戦った6年生の応援のお陰で諦めない気持ちを持ち、延長戦を勝つことが出来ました。決勝戦では自分達の野球ができ優勝しました。野球を教えていただき、グラウンド、送迎の手配してくれる監督、コーチに感謝です。いつもおにぎりを作ってくれるお母さん、コーチとして助けてくれるお父さんに、もう一度感謝をしたいと思います。



★ 夏見台アタックス 推薦選手 小川 慶 (オガワ ケイ)

ぼくは、昨年の県大会で悔しい思いをしたので、次こそは優勝したいという気持ちでこの大会にのぞみました。準決勝の緑町戦では、ぼくのエラーで失点をしてしまいました。チームメイトが「ドンマイ」と励ましてくれたのが嬉しかったです。そして、次はぼくがみんなを支えたいと思うことで、サドンデスのサヨナラのピンチの場面でも、積極的な守備ができました。監督やコーチ、チームメイトに感謝して、関東大会でも優勝目指してがんばりたいです。



★ 夏見台アタックス 監督 森野 繁 (モリノ シゲル)

大会期間3日間の決勝までの4試合を振り返ると、最初の2試合は最少失点でしのいでコツコツと得点できた良い展開。準決勝・決勝は先制されて追いつける苦しい展開。しかし、選手たちはどんな展開になっても、自分を信じ、仲間を信じ、練習を信じて対応してくれました。素晴らしい選手の成長に目を細める大会でしたが、準決勝・決勝の勝敗は紙一重。今後も、おごることなく努力を重ねなければならないことを再認識させてくれる大会となりました。



★ 四小地区少年野球クラブ 主将 本砂 柊海 (モトスナ シュウ)

今大会では、自分たちの学年は初めての県大会だったので少しくわくわくしていました。予選で昨年の優勝チームに勝ち監督、コーチ、選手、親が丸となって「優勝する」という目標に向かって練習を積み重ねて来ました。自分は、キャプテンとして、みんなをまとめてきました。決勝の夏見台さんはすごく打って強かったです。でもここまで来られたのは自分たちだけでなく監督コーチやお父さんお母さん、先輩、後輩の協力があることです。また、県大会に来て次は優勝したいです！



★ 四小地区少年野球クラブ 推薦選手 入江 雄大 (イリエ ユウタ)

僕は、今回が初めての県大会でした。初戦先発し、楽しく投げられ勝つことができました。その勢いそのまま勝ち進み、決勝まで行きました。しかし決勝戦では力を出し切れず負けてしまいました。一番悔しかったのは、二回に登板した時に失点してしまったことです。あそこで踏ん張れたら流れが変わっていたかもしれないのでとても悔しいです。来年は6年生で最後の一年になるので悔いを残さず、みんなで笑って終われるようにチーム一丸となって練習して頑張っていきたいです。



★ 四小地区少年野球クラブ 監督 神宮司 清 (シノグウジ キヨシ)

選手の成長を見ているのが楽しみな大会でした。強豪チームと互角の勝負が出来る楽しみ、敗れて悔しさを味わった選手たちはまだまだ荒削りで伸びしろがあると感じています。このような素晴らしい大会で決勝まで進み、さらに自信を深めることができました。新たな目標に向かってチーム一丸となり努力を重ねて参ります。各方面より本大会に御尽力頂きました皆様に感謝を申し上げます。ありがとうございました。